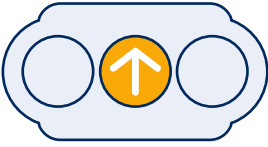


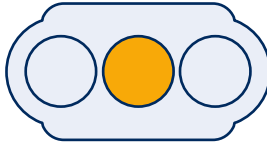


シュローダー・マルチアセット・ビュー

グローバル市場見通し

2023年
6月

見通しの表示： ● 強気 ● 中立 ● 弱気 矢印：対前月での見通しの引き上げ/引き下げ

株式	国債	社債	コモディティ（商品先物）
			
底堅い労働市場と堅調なサービスセクターを背景に、世界的な経済減速の見通しは後ずれしていることから、株式の見通しを中立に引き上げました。	逆イールド(短期金利が長期金利を上回る状態)の中、景気減速の見通しが後ずれしていることから、国債の見通しを一旦中立に引き下げました。	米国債務上限問題の解決を受け、見通しが改善したことから社債の見通しを強気に引き上げました。クレジットへの資産配分により、デュレーションとポジティブなキャリーへのアクセスが可能となります。	財セクターは引き続き低迷しており、在庫水準は安定的に推移、中国の経済再開の影響には一巡感があることから、中立の見通しを維持しています。

資産クラス	分類	見通し
株式	米国	 景気後退の後ずれにより、短期的には企業業績の上昇可能性があると考えます。サービスセクターが堅調であることも考慮し、強気の見通しに引き上げました。
	欧州	 主にドイツの製造業の減速を背景に、ユーロ圏経済の景気は後退していることから、弱気の見通しを維持しています。
	日本	 グローバルな景気減速の可能性が後ずれしていると考えます。その下で、足元で日本株式は上昇していますが、見通しを中立に引き上げました。デフレの回避やコーポレートガバナンス改革は長期的に追い風となる可能性があります。
	アジア (除く日本)	 中国のサービスセクターの回復は、早期にモメンタムが低下したことから、中国の見通しを中立に引き下げました。今後、景気刺激策が実施されると考えます。中国以外のアジアについては、慎重な見通しを維持しています。
	新興国	 新興国の利上げサイクルは先進国より進んでいますが、米連邦準備制度理事会(FRB)がタカ派姿勢を維持していることが重しとなると考えます。

最終ページの「本資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。本資料に記載された見解はシュローダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュローダーの見解と同一であるとは限らず、シュローダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。










シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

シュローダー・マルチアセット・ビュー グローバル市場見通し

2023年
6月

資産クラス	分類	見通し
国債	米国	 景気後退が後ずれする可能性が高まっており、逆イールド、ネガティブ・キャリーとなっていることから、米国債を保有することの魅力度は低いと考え、見通しを中立に引き下げました。
	欧州 (ドイツ国債)	 欧州中央銀行(ECB)の利上げペースはピークを迎え、インフレは低下基調に向かい始めたと考えており、中立の見通しを維持しています。
	新興国 (現地通貨建て)	 新興国では、インフレ抑制のための利上げのサイクルが先進国よりも進んでいます。新興国のインフレ率は減速しており、利下げの実施が見込まれます。
	インフレ連動債	 インフレの低下が見込まれることから、引き続き名目債券でエクスポージャーを取ることを選好しています。
投資適格社債	米国	 米国の金融状況の引き締めりは、欧州よりも速いペースで進んでいるほか、米国のスプレッドのバリュエーションの魅力度は低いと考えます。
	欧州	 高クオリティのクレジットへの需要が存在し、金融状況の引き締めりは、米国よりも緩やかなペースであることから、見通しを強気に引き上げました。また、デレーションに加え、キャリーへのアクセスが可能であることも魅力的と考えます。
	新興国 (米ドル建て)	 ソフトランディングとなった場合、新興国債券が選好されますが、明確な兆候が見られるまで、中立の見通しを維持します。
ハイイールド社債	米国	 金融状況の引き締めりを背景に、米国ハイイールド債券のデフォルト率は上昇しています。足元では、中立の見通しを維持しています。
	欧州	 バリュエーションやスプレッド水準の魅力度は低いことから、中立の見通しを維持しています。

最終ページの「本資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。本資料に記載された見解はシュローダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュローダーの見解と同一であるとは限らず、シュローダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社




金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号




加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

シュロダー・マルチアセット・ビュー

グローバル市場見通し

2023年
6月

資産クラス	分類	見通し
コモディティ (商品先物)	エネルギー	 サウジアラビアによる原油の減産が行われましたが、市場の供給は十分な水準であることが伺えます。中国の経済再開の影響も一巡し、需給のバランスは保たれると考えます。
	金	 労働市場は引き続きタイトで経済成長が底堅く推移する中、金価格は下落していることから、見通しを中立に引き下げました。
	産業用金属	 財市場の回復が鈍いことや、供給サイドの問題の後退に加え、中国の経済回復はモメンタムを失っていることを背景に、中立の見通しを維持しています。

資産クラス	分類	見通し
通貨	米ドル	 米国経済は予想を上回って推移しており、当初の見通しよりも高い水準まで利上げを実施する可能性があることから、見通しを中立に引き上げました。ただし、ボラティリティ上昇の可能性には注視する必要があります。
	ユーロ	 欧州の金利はピークの水準に達しており、今後数か月間でECBの金利見通しはより安定化すると考えることから、見通しを中立に引き下げました。
	日本円	 市場参加者の注目が、インフレから景気減速に移行する中で、日本円の安全通貨としての価値が再評価される可能性があります。

出所：シュロダー。社債に関する見通しは信用スプレッド(デレージョン・ヘッジを前提)の動きに基づくものです。ユーロと日本円は対米ドルの見通しとなります。

【本資料に関するご留意事項】 本資料は、情報提供を目的としてシュロダー・インベストメント・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した資料であり、いかなる有価証券の売買の申込み、その他勧誘を意図するものではありません。本資料に示されている運用実績、データ等は過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合があります。また外貨建て資産の場合は、為替レートの変動により投資価値が変動します。本資料中に記載されたシュロダーの見解は、策定時点で知りうる範囲内の妥当な前提に基づく所見や展望を示すものであり、将来の動向や予測の実現を保証するものではありません。市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。本資料は、作成時点において弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されておりますが、内容の正確性あるいは完全性については、これを保証するものではありません。本資料を弊社の許諾なく複製、転用、配布することを禁じます。シュロダー/Schrodersとは、シュロダーplcおよびシュロダー・グループに属する同社の子会社および関連会社等を意味します。

最終ページの「本資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。本資料に記載された見解はシュロダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュロダーの見解と同一であるとは限らず、シュロダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。

シュロダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会